

支
部だ
よ
り

各支部での一年間の総会・活動などの様子をお届けいたします。

関東支部

草場 康子（女大18被）

令和四年度の総会・懇親会は対面だと思っておりましたが、COVID19の感染状況の予想が全くつかなかったことから、見送ることとし、約千三百名の方に書面をお送りしての決議とさせていただきますました。関東支部の皆様のご協力に感謝いたします。

同窓会員による専門知識や経験のシェアリングを目的として、オンラインでの講座を、五月に「成年後見」、七月に「子育て」、九月に「生きがい」をテーマに開催しました。講座の後半には、交流会を設け、質問や活発な意見交換をして楽しく学びを深め



わたしという花をさかせましょう
(9月オンライン講座)



すべて手縫いです
(6月作成のスマホポシェット)

ました。

関東支部の同好会活動であるコミュニケーションは、「手作りの会」が四月に久しぶりに集まって手作りのランチ会を行い、作品作りを再開しました。四月は鍋つかみ、六月はスマホポシェット、九月はエコクラフトで籠を作りました。マンドリンの演奏グループ「フルール」は、年初から活動を再開しました。広島で行われた七月の交歓会のため、五月六月は毎週、オンラインでの合奏練習を行っています。

令和五年度は、四年ぶりとなる対面の総会・懇親会を行いたいと考えています。関東支部の来年度の当番幹事は、女子大二十五期、県大七期と、農短二期です。新しい時代の新しい支部同窓会を一緒に作りましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

近畿支部

橋本 芳和（農短21農学）

支部会員の皆様には、近畿支部はどのような状態なのかとご心配をおかけし心苦しく思っております。

コロナ禍後には、新しい形での支部活動が復活できるよう皆様のご協力をお願いします。

岡山支部

藤井 茂保（農短22農学）

コロナにより二〇二一年の支部総会（隔年開催）を見送っていたことから、二〇二二年に開催できればと考えていました。夏場に新型コロナウイルス感染者数が爆発的に増加したことから、二〇二二年も支部総会の開催を見送ることといたしました。

二〇二三年は定例の支部総会の開催年に当たります。行動制限は徐々に緩和されているものの、感染対策は必要とされていることから、今後のコロナの動向を注視しながら、二〇二三年支部総会の開催について可否を決めて行きたいと考えています。

福山支部

前中 弾（県大2生管）

福山支部の皆様いかがお過ごしで

しょうか。二〇二二年度は全体総会及び支部長会議が開催され、私は支部代表として参加してまいりました。全国の支部長さんの熱意に触れられ、また、福山支部の同窓生にお会いでき大変有意義な機会を持つことができました。

福山支部においては、安心して集える時期を待つという私の見解に変わりはありませんので、支部の行事開催についてはもう少ししばらく様子を見る必要があると認識しております。何卒ご理解の程宜しくお願い致します。

全体総会では様々な年代と学部と同窓生が参加されておりました。次回の福山支部総会もぜひお気軽にご参加いただければ有り難いです。

尾道支部

寺岡 義明（農短17農学）

二〇二二年六月二十六日（日）、庄原市の帝釈峡観光ホテル錦彩館において、支部総会を開催いたしました。参加者は十三名（女短三名、女大九名、農短一名）でした。

尾道からは、片道一時間半のバスの旅になりました。旅程は、山間のくねくねした道でしたが、川あり山ありで、尾道の海がある景色とは、まるで変わっていました。尾道はすでに初夏、道中はまだ新緑の季節で山々の緑はまだ薄くバスの中では、「木々の葉が緑と黄緑だ」と声をあげていました。

総会では、まず二〇二一年度の事業、



コーラス、また孫の自慢ばなしと盛り上がりました。

食後は、神龍湖の遊覧船で四十分のひと時を満喫し、帰りのバスでは、午睡のひと時となり、楽しい一日を過ごさせていただきました。

皆様、来年までお元気で。



会計報告、次に二〇二二年の事業計画、予算案の提案があり、すべて承認されました。

その後、食事をした大きな近況報告。皆さん趣味のバラづくり、詩吟の披露、水泳での健康づくり、

三原支部

川口 真理子(女大6児)

新しい執行部誕生

コロナ禍、定期総会の開催もままならず、書面投票で、次期執行部が生まれました。

先輩方の活躍にただついていくだけの私たちでした。「もう世代交代の時期よ」と促され、何もわからないまま、引き受けたわけですが、何からやってみようか、今更ながら責任を感じる次第です。

三原支部として、大学祭に参加して、地産地消献立の試食会を開き、学生さんや地域の方々に提供してまいりましたが、高齢化に伴い、準備もままならなくなり、コロナの発症により、大学祭自体の開催も中止となりました。今、何をやっていくという指針はないのですが、コロナが収まって、みんなが参加してよかったと思える活動を進めていきたいと考えております。

令和四年度、五月十四日に、中之町光谷にあるシャクヤク畑見学に、希望者で参加してまいりました。



旨として、光谷公民館のご協力により、遠足のようなかたちではじまったイベントでした。今は、芍薬の花の美しさに惹かれて、老いを感じながらも、参加しています。若い方の参加を願いつつ、暗中模索の日々です。

三次支部

磯井 ふみ子(女大4被)

新型コロナウイルスに翻弄された三次支部

三次支部は今から三年余り前、活動するメンバーも活動自体もほとんどないという風前の灯状態にありました。

二〇一九年四月、「支部の解散」をも視野に入れていた最低限のメンバーの呼びかけに、わずかながら数人が応じ

たことで辛うじて解散を回避し、まずは名簿づくりとともに全会員に向けての意向調査アンケートを開始。その結果を受けて、同年十二月には何とか総会開催にこぎつけ、体制立て直しへと大きく舵を切るはずでした。ところが総会は終えたものの、この十二月初旬というのが、中国武漢で新型コロナウイルス感染の一例目が確認されるという時期とちょうど重なってしまいました。

以後、支部活動の制限を余儀なくされる中、二〇二二年三月には支部会長の急逝という不幸にも見舞われ、二年に一度と決めていた総会開催も現在未定のまま現在に至っています。コロナに翻弄される支部活動が少しでも動き出せるよう、今は感染拡大の収束を願うばかりです。

二〇一九年十二月の活性化総会以降、せめて支部便りを年一回発行と進めています。再び再生に向け役員協議を進めていきますので、会員各位のご協力をお願いします。

三原支部活性化総会から1年経たず

【三次支部活性化総会から1年経たず】
 三原支部活性化総会(2019年12月)以来、支部の活性化に向けて、支部員による活動が徐々に進んでいます。この総会から1年経たず、支部員による活動が徐々に進んでいます。この総会から1年経たず、支部員による活動が徐々に進んでいます。

【支部員による活動】
 支部員による活動が徐々に進んでいます。この総会から1年経たず、支部員による活動が徐々に進んでいます。

【支部員による活動】
 支部員による活動が徐々に進んでいます。この総会から1年経たず、支部員による活動が徐々に進んでいます。

【支部員による活動】
 支部員による活動が徐々に進んでいます。この総会から1年経たず、支部員による活動が徐々に進んでいます。

東広島支部

内海 泉 (女大4社福)

東広島支部では、コロナ禍の影響で総会・懇親会の開催を中止していましたが、四年ぶりに、二〇二二年度は総会を開催することにしました。

十一月二十七日 HAKUWAホテルにて十三時三十分から、北村会長にもご出席いただき総会を開催し、過去四年間の活動報告と役員改選の議案が承認されました。その後、懇親会の代わりとして、コロナ禍で沈みがちな気持ちを「深まる秋に響く癒しの音色」と題して音楽鑑賞



をしました。ピアノ、サクソフォン、オカリナの演奏に皆さんの気持ちが和まれたと思います



音楽鑑賞

す。これから新役員による活動がスタートしますが、少しずつでも支部の交流の輪が広がり、活動が再開できればと祈っております。



県立広島大学同窓会東広島支部 令和4年11月27日

竹原支部

元矢 和司 (農短2畜産)

竹原支部の総会は、令和二年に大崎上高町で実施しました。

竹原支部会則で、支部総会は三年ごとに開くとなっています。支部長と副支部長は、大崎上高と竹原で交互に行うこととしています。

この二年間、コロナで行事を行っていません。今後の予定として、令和五年に竹原市で総会、懇親会を計画したいと思います。新型コロナウイルス収束状況をふまえ決めたいと思います。役員と協議し日時を決定したらご案内をさしあげたいと思います。一日も早い収束を願っています。

呉支部

山上文恵 (女大6生)

二〇二二年九月四日(日)十二時より隔年開催の同窓会呉支部食事を、新型コロナウイルス感染症の増大の中ではありませんが、クレイトン・ベイ・ホテルの万全の感染防止対策の体制がありましたので、二十一名の参加者で開催を行いました。

お願いをしていましたソプラノ歌手の下松由夏さんとお弟子さんのテノール歌手の福島成さんの歌声とピアノ奏者の柳田信策さんの伴奏と独奏を聴かせていただくことができました。

心に響く歌声とピアノ演奏を皆さままうつとりと聴かれました。短大二期被服の宮本田鶴子様は(出席者最高齢九十歳)、昔聴いた松井須磨子さんの歌声や昭和二十七年



県立広島大学同窓会呉支部 令和4年9月4日 於:クレイトンベイホテル



に見た「椿姫」を思い出され、素敵な時間をありがとうございますとの感想をのべられました。

その後は、恒例の美味しい食事を堪能し、アクリル板越しではありましたが、同窓生の皆さんどうしおしゃべりで盛り上がり 있었습니다。一年のブランクはありましたが、様々な話が飛び交い楽しい時間を過ごしました。

来年は、新型コロナウイルス感染が収束し、より多くの同窓生の皆様に元気で会えることを楽しみにしています。

山口支部

末釜 久之 (農短10農業)

県立広島大学同窓会山口支部の会員の皆様、お変わりなくお過ごしのことと存じます。大変永い間の御無沙汰をお許し下さい。令和四年度は是非とも皆さんと会うべく予定しておりましたが、全国的なコロナ禍の第七波の影響で、山口県も極端な感染者の増加で、やむなく先送りを余儀なくされて、大変に残念に思っております。例年の十月開催につきましては当面、総会を中止して、開催を先送りとしておりますが、時期にとらわれず落ち着いた時点で、案内をする考えでおります。東部役員も各々、やきもきをしている所でありませぬ。どうぞお会い出来る日を楽しみに、今しばらくお待ち頂けたらと存じます。また、皆様方の御活躍ぶりや、支

部への御要望などがあれば、遠慮なく御一報下されれば幸いに存じます。お会いできる時までお元気で過ごして下さい。

愛媛支部

木原 眞理子 (女大4被)

コロナ感染症拡大により延期となっていた県立広島大学同窓会支部長会が六月十日開催されました。私は、武田支部長の代理で出席させていただきました。各支部の活動、課題等を発表し意見を交換しました。翌日、創立百周年記念祝賀会が盛大に開催されました。コロナ禍の中、実行委員会の方々のご尽力に感謝するとともに、心労もいかばかりかと頭が下がる思いがしました。

かねてより県立広島大学同窓生が各方面で活躍されているのを見聞きし、頼もしく、誇りに思っていました。私もまたその一員であることを改めて嬉しく思いました。愛媛支部には四百七十九名の同窓生が在籍しています。広島県立大学、広島県立保健福祉大学、県立広島女子大学が統合してますます幅が広がり、支部総会・親睦会を楽しみにしていました。前回はコロナ禍のため中止となり残念に思いました。次回は、令和五年七月第一日曜日の予定です。そのころにはきつと世の中も落ち着いてたくさん先輩、後輩にお目にかかれるのではないかと今からワ

クワクしています。

そのためには、課題である役員選出があります。現役員は任期最後の三期目に入っており統投はできません。伝統ある同窓会の灯をともし続けるため、元三大学の方それぞれから幅広く役を引き受けていただければと思います。個別にご連絡させていただくと思えますのでその節にはどうぞよろしくお願いいたします。

北部九州支部

大場 邦子 (女大11社福)

北部九州支部では、二年に一度総会を行っております。二〇一九年に支部総会を行い、二〇二一年の開催を予定しておりましたが、コロナ禍のため見送ることになりました。その後も、収束の状況が見えず、活動が行えておりませんが、昨年六月の支部長会で、どの支部も存続・活性化のために努力されている生の声をお聞きして、先行きが見えない状況ですが、少しでも前に進めて行けたらと思っております。

大分支部

熊本 昭憲 (農短19農学)

二〇二二年度の大分支部会を次の通り開催しました。

日時 二〇二二年 七月三日(日)
場所 てっぱん焼き「作」(別府市)

出席人数 女専 一名 女短 二名
女大 三名 農短 三名

コロナ禍のなか、開催を迷いましたが、二年ぶりに支部の集まりを行うことができ、皆さんから近況報告など聞き、楽しい時間を過ごすことができました。役員も交代し、支部長は松田美代子さんから交代して熊本昭憲に、支部長に松田さんがなされました。来年もたくさんの方とお会いできるのを楽しみにしています。

